

広島大学基金児玉派遣留学奨学金交付要領

平成 26 年 11 月 18 日

理事（平和・国際担当）決裁

平成 29 年 7 月 7 日一部改正

理事・副学長（国際・平和・基金担当）決裁

第 1 この要領は、広島大学基金要項(平成 19 年 12 月 17 日学長決裁)第 3 第 2 項の規定に基づき、児玉治氏及び児玉暁子氏から受けた寄附金を原資として支給する児玉派遣留学奨学金(以下「奨学金」という。)の交付に関し必要な事項を定めるものとする。

第 2 この奨学金は、国際社会で活躍できる人材の育成のため、広島大学(以下「本学」という。)学生の海外派遣留学の推進を目的に、留学に係る費用を支援するものとする。

第 3 奨学金の交付を受けることのできる者は、応募時に本学の学部生又は大学院生であって、次の各号に該当する者でなければならない。

- (1) 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者（特別永住者を含む）
- (2) 応募年度に海外派遣留学を開始する者
- (3) 原則として、他団体等（本学及び派遣先大学等を含む）から当該海外派遣留学に対する経済支援（返済が必要な貸与型奨学金等は含まない）を受けていない者

第 4 奨学金の交付を希望する者(以下「応募者」という。)は、別に定める申請書等により学長に申請しなければならない。

第 5 奨学金の交付を受ける者(以下「採用者」という。)は、短期留学交流部会の審査を経て学長が決定するものとする。

第 6 学長は、採用者を決定したときは、速やかに選考の結果を応募者に通知するとともに、採用者に奨学金を交付するものとする。

第 7 奨学金の額は、原則として 1 人当たり 30 万円を限度とする。

第 8 学長は、奨学金の交付を決定した後、採用者が第 3 に該当する者でなくなったときは、その決定を取り消すことができる。

第 9 学長は、奨学金を交付した後、採用者が第 3 に該当する者でなくなったときは、既に交付した奨学金の全部又は一部を返還させることができる。

第 10 採用者は、海外派遣留学終了後 1 月以内に、海外派遣留学の成果等を学長に報告しなければならない。

第 11 奨学金に関する事務は、国際室国際部国際交流グループにおいて処理する。

第 12 この要領に定めるもののほか、奨学金の交付に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要領は、平成 26 年 11 月 18 日から施行する。
- 2 この要領は、寄附金が存続する間、その効力を有する。

附 則（平成 29 年 7 月 7 日 一部改正）

この改正は、平成 29 年 7 月 7 日から適用する。